

「キャッシュフロー表」作成マニュアル（共働き編） ver.1.0

（「キャッシュフロー表(Excel)」及び本作成マニュアルは、「令和5年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き」等を参考に筆者が作成。Excel に組み入れた計算式等については、文末の【参考】を参照）

1 はじめに

本「キャッシュフロー表」プログラム（Excel）は、Excel で作成しており、画面下のシートタブで開く「基本データ」の表に、**名前や数値等を入力することにより、誰でも簡単に100歳までのキャッシュフロー表を作ることができる**ようになっています。

キャッシュフロー表は、主に赤色の3つのタブ「基本データ」、「キャッシュフロー表」、「控除の計算」の表からなります（実際に入力等をしていただくものは、「基本データ」、「キャッシュフロー表」のみです。）

このExcelファイルのほかに、用語の解説や所得税・住民税、社会保険料等の計算の仕方などをまとめたファイルも用意していますが、それらは、必要に応じてご覧ください。

下図は「キャッシュフロー表」の完成時のイメージです。

A B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1		キャッシュフロー表	(単位:万円)			2024/6/9												
2			西暦	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	20	
3	年齢	大谷 勝	本人	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	6	
4		大谷 麻美	配偶者	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	6	
5		大谷 春子	子1	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	3	
6		大谷 夏男	子2	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3	
7			子3															
8		子4																
9		父																
10		母																
11	収入	① 給与支払金額	本人	500	500	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	300		
12		② 公的年金	本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13		⑤ 所得税・住民税	本人	15	15	21	21	31	31	41	41	41	41	41	41	12		
14		⑥ 社会保険料(厚生、介護、健康)	本人	81	81	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	49		
15		①' 給与支払金額	配偶者	500	500	500	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600		
16		②' 公的年金	配偶者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17		⑤' 所得税・住民税	配偶者	34	36	39	56	59	62	65	68	71	74	77	80	83		
18		⑥' 社会保険料(厚生、介護、健康)	配偶者	91	94	97	100	103	106	109	112	115	118	121	124	127		
19		③ 投資信託売却等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20		④ その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500	
21		可処分所得(手取り収入)		779	774	850	930	914	908	892	886	880	874	868	862	2,130	1,5	
22	支出	⑩ 基本生活費	1.0%	324	327	331	334	337	341	344	347	351	354	358	361	365		
23		⑪ 特別生活費	1.0%	72	73	73	74	75	76	76	77	78	79	80	80	81		
24		⑫ 住居費	1.0%	180	182	184	185	187	189	191	193	195	197	199	201	203		
25		⑬ 保険料		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24		
26		⑭ 教育費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
27		⑮ 投資等		48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
28		支出合計		648	654	660	665	671	677	683	690	696	702	708	715	721	5	
29		年間収支		131	120	190	264	243	231	209	197	184	172	160	147	1,409	1,0	
30		A: 銀行等貯蓄残高		500	631	752	942	1,206	1,449	1,679	1,888	2,085	2,269	2,441	2,601	2,748	4,157	5,1
31		B: 定期預金又は投資信託残高(解約又は売却後)	2.0%	100	151	203	256	310	365	421	479	537	597	658	720	783	848	9
32		C: 資産総額 (A+B)		782	955	1,198	1,516	1,814	2,101	2,367	2,622	2,866	3,099	3,321	3,531	5,005	6,0	

なお、誰でも短時間で簡単に作成できるようにするため、Excel の数式を組み込む際には、一部数値を省いたり、数値に一般的な代表値を使用している部分があります。このため結果は必ずしも事実と厳密に一致しているわけではありませんが、

「100歳までの将来のおおよその数値を把握し、それに向かって現在の対処方法を考える」

ことを目的に作成しています。

注) 作成中に入力方法等に疑問が生じた方は、遠慮なく本ブログのトップページ右上の[お問い合わせ](#)

をクリックし、質問内容を送信してください。修正すべき点などの意見も喜んで賜ります。

作成するにあたっては、以下のものを手元に用意しておくこと、よりスムーズに入力することができます。手元にない場合や不明な場合には、おおよその数値を入力していただいても構いません。

- ・ 給料明細書
- ・ 源泉徴収票
- ・ ねんきん定期便
- ・ 家計簿

それでは、さっそくキャッシュフロー表を作成していきましょう。

2 基本データの入力とキャッシュフロー表の確認

(1) 基本データについて

基本データ										キャッシュフロー表へ転記									
入力(自動反映) 入力したものを転記										資料									
(単位: 円)										(単位: 円)									
1	氏名	生年月日	現在の年齢	将来想定年収	50歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降	支出(家族計)	64歳まで	月額	年額	65歳以降(9割)	年額	75歳以降(8割)	年額
本人	大谷 勝	1975年 8月 10日	48	6,000,000	3,000,000	3,000,000	0	0	6,000,000	3,000,000	0	基本生活費	270,000	3,240,000	2,916,000	2,592,000			
				想定年収額	(繰り下げも加味)「ねんきん定期便」より							特別生活費	60,000	720,000	648,000	576,000			
				65歳以降	70歳繰り下げ	75歳繰り下げ						住居費	150,000	1,800,000	240,000	—			
				1,500,000	2,130,000	2,760,000						保険料	20,000	240,000	0	—			
												教育費	別表による	別表による	0	—			
												行書・投資信託等	40,000	480,000	0	—			
												計	270,000	3,240,000	60,000.0	720,000			
												別表	注) キャッシュフロー表の例示では、幼稚園、小中高校は公立、大学は私立文系で設定						

Excel 画面下部のシートタブの「基本データ」をクリックし、基本データの画面を開きます。画面の中の [] の部分、 [] の部分に、名前や数値、金額をそれぞれ入力していきます。初期の画面では、本人、配偶者と子ども2人という設定になっていますが、それ以外の場合は、以下のように入力してください。なお、分かりやすいように、一部入力している部分もありますので、適宜、ご本人の内容に上書きしてください。

注) 名前は全角文字、数値や金額は半角文字で入力してください。

- ① 独身の場合：本人のみ入力
 - ② 夫婦と子供一人の場合：本人、配偶者、子1に入力
 - ③ 夫婦と子供3人又は4人の場合：本人、配偶者、子1、子2に加え、適宜、子3、子4にも入力
 - ④ ①～③等以外に、本人又は配偶者の親が同居している場合：①～③等に加え、父、母にも入力
- その他の場合は、①～④を参考にして、適宜入力してください。

[] に入力した内容は別のタブの画面にある「キャッシュフロー表」に自動的に反映されます。
 [] に入力した内容は、「キャッシュフロー表」の特定の場所に後ほど自ら入力します。
 また、[] の部分は、[] の部分すべてに入力すると自動的に計算・表示されます。
 [] の内容も、「キャッシュフロー表」の特定の場所に後ほど自ら入力します。

(2) [] のセルの入力について

給料明細書等をもとに、まず、[] の部分すべてに入力します。

今回の例では、家族構成は夫婦と子ども2人を想定しています。**1**本人、**2**配偶者、**3**子1、**4**子2の欄など、実際の家族構成に応じてそれぞれ入力してください。

○将来想定年収の欄は、「60歳以降」など、働かない予定の場合は0を入力してください。

○想定年金額の欄は、65歳から受給する老齢年金の見込み額（老齢基礎年金及び老齢厚生年金の合計額）を「ねんきん定期便」を参考に入力してください。

今回の例では65歳から受給することとしていますので、キャッシュフロー表には、自動的に65歳から受給するように表示されます。

なお、年齢が若い方で、「ねんきん定期便」に見込み額が示されていない方は、以下の数値を参考にして入力してください。

厚生年金（老齢基礎年金及び老齢厚生年金の合計）の平均受給額

男性：197万円（163,875円/月 ⇒ 1,966,500円/年）

女性：126万円（104,878円/月 ⇒ 1,258,536円/年）

専業主婦：65万円（老齢基礎年金のみとして、54,426円/月 ⇒ 653,112円/年）

※「令和4年度 厚生年金保険・国民年金事業の概況」（令和5年12月 厚生労働省年金局）より筆者が計算

○現在の投資額など、該当がない部分には入力しなくてもかまいません。

○子どもの教育費については、画面の右側の資料の下部にある別表のグレーの数値のうち、該当する金額を選んで入力してください。なお、具体的な金額がわかっている場合にはその金額を入力してください。

今回の例の場合には、一人目の子どもは、現在大学生で、私立の文系に就学しており、二人目の子どもは現在高校生で、公立の高校に就学、将来、私立大学の文系に進学する予定としてあります。

私立の高校や、大学は理系など、実情に応じ適宜、変更してください。また、現在未定であれば、あとで変更することができますので、現在の予定を入力することで構いません。

の部分すべてに入力すると、の部分にも自動的に計算された金額が示されているのがわかると思います。

○各種控除額は、源泉徴収票から「生命保険料控除額」及び「地震保険料控除額」を入力し、それぞれの支払い終了年を入力します。しばらく支払いが続き終了年が未定の場合には、「永年」と入力してください。

○生活費や住居費、保険料、教育費等は夫（本人）の支出として計算することとします。

なお、各種控除額は、本人と配偶者を別にしていきます。

(3) のセルの入力について

次に、のセルに入力していきます。

○想定年金額で、繰り下げて70歳から受給する場合はその1.42倍の金額を、75歳から受給する場合はその1.84倍の金額を、それぞれ「ねんきん定期便」を参考にのセルに入力してください。

○想定退職金は、今わかる程度の金額を入力することで結構です（退職金には退職金控除がされたあとに所得税が課されますが、今の時点では想定退職金を入力することとします）。

ここまで入力した状況のイメージは下図のとおりです。

基本データ										キャッシュフロー表へ転記																																																																															
基本データ										資料																																																																															
<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>生年月日</th> <th>現在の年齢</th> <th>50歳以降</th> <th>60歳以降</th> <th>65歳以降</th> <th>70歳以降</th> </tr> <tr> <td>大谷 勝</td> <td>1975年 6月 19日</td> <td>48</td> <td>6,000,000</td> <td>3,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>収入</th> <th>給与(年収)</th> <th>給与(4月)</th> <th>給与(5月)</th> <th>給与(6月)</th> <th>※-12(6月)</th> <th>※-12(12月)</th> <th>通勤手当(月)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>5,000,000</td> <td>300,000</td> <td>300,000</td> <td>300,000</td> <td>700,000</td> <td>700,000</td> <td>15,000</td> </tr> </table>										氏名	生年月日	現在の年齢	50歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降	大谷 勝	1975年 6月 19日	48	6,000,000	3,000,000	0	0	収入	給与(年収)	給与(4月)	給与(5月)	給与(6月)	※-12(6月)	※-12(12月)	通勤手当(月)		5,000,000	300,000	300,000	300,000	700,000	700,000	15,000	<table border="1"> <tr> <th>支出(家族計)</th> <th>月額</th> <th>年額</th> <th>年額</th> <th>年額</th> </tr> <tr> <td>基本生活費</td> <td>270,000</td> <td>3,240,000</td> <td>2,016,000</td> <td>2,992,000</td> </tr> <tr> <td>特別生活費</td> <td>60,000</td> <td>720,000</td> <td>648,000</td> <td>576,000</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td>150,000</td> <td>1,800,000</td> <td>240,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育費</td> <td>40,000</td> <td>480,000</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>270,000</td> <td>3,240,000</td> <td>60,000</td> <td>720,000</td> </tr> </table>										支出(家族計)	月額	年額	年額	年額	基本生活費	270,000	3,240,000	2,016,000	2,992,000	特別生活費	60,000	720,000	648,000	576,000	住居費	150,000	1,800,000	240,000	—	保険料	20,000	240,000	—	—	教育費	40,000	480,000	—	—	計	270,000	3,240,000	60,000	720,000					
氏名	生年月日	現在の年齢	50歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降																																																																																			
大谷 勝	1975年 6月 19日	48	6,000,000	3,000,000	0	0																																																																																			
収入	給与(年収)	給与(4月)	給与(5月)	給与(6月)	※-12(6月)	※-12(12月)	通勤手当(月)																																																																																		
	5,000,000	300,000	300,000	300,000	700,000	700,000	15,000																																																																																		
支出(家族計)	月額	年額	年額	年額																																																																																					
基本生活費	270,000	3,240,000	2,016,000	2,992,000																																																																																					
特別生活費	60,000	720,000	648,000	576,000																																																																																					
住居費	150,000	1,800,000	240,000	—																																																																																					
保険料	20,000	240,000	—	—																																																																																					
教育費	40,000	480,000	—	—																																																																																					
計	270,000	3,240,000	60,000	720,000																																																																																					
<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>生年月日</th> <th>現在の年齢</th> <th>50歳以降</th> <th>60歳以降</th> <th>65歳以降</th> <th>70歳以降</th> </tr> <tr> <td>大谷 麻美</td> <td>1977年 5月 2日</td> <td>47</td> <td>6,000,000</td> <td>3,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>収入</th> <th>給与(年収)</th> <th>給与(4月)</th> <th>給与(5月)</th> <th>給与(6月)</th> <th>※-12(6月)</th> <th>※-12(12月)</th> <th>通勤手当(月)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>5,000,000</td> <td>300,000</td> <td>300,000</td> <td>300,000</td> <td>700,000</td> <td>700,000</td> <td>15,000</td> </tr> </table>										氏名	生年月日	現在の年齢	50歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降	大谷 麻美	1977年 5月 2日	47	6,000,000	3,000,000	0	0	収入	給与(年収)	給与(4月)	給与(5月)	給与(6月)	※-12(6月)	※-12(12月)	通勤手当(月)		5,000,000	300,000	300,000	300,000	700,000	700,000	15,000	<table border="1"> <tr> <th>支出(家族計)</th> <th>月額</th> <th>年額</th> <th>月額</th> <th>年額</th> </tr> <tr> <td>基本生活費</td> <td>100,000</td> <td>1,200,000</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>水電光熱費</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>通信</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>30,000</td> <td>360,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>美容・衣服</td> <td>30,000</td> <td>360,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>70,000</td> <td>840,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>270,000</td> <td>3,240,000</td> <td>60,000</td> <td>720,000</td> </tr> </table>										支出(家族計)	月額	年額	月額	年額	基本生活費	100,000	1,200,000	20,000	240,000	水電光熱費	20,000	240,000	20,000	240,000	通信	20,000	240,000	20,000	240,000	交通費	30,000	360,000	0	0	美容・衣服	30,000	360,000	0	0	その他	70,000	840,000	0	0	計	270,000	3,240,000	60,000	720,000
氏名	生年月日	現在の年齢	50歳以降	60歳以降	65歳以降	70歳以降																																																																																			
大谷 麻美	1977年 5月 2日	47	6,000,000	3,000,000	0	0																																																																																			
収入	給与(年収)	給与(4月)	給与(5月)	給与(6月)	※-12(6月)	※-12(12月)	通勤手当(月)																																																																																		
	5,000,000	300,000	300,000	300,000	700,000	700,000	15,000																																																																																		
支出(家族計)	月額	年額	月額	年額																																																																																					
基本生活費	100,000	1,200,000	20,000	240,000																																																																																					
水電光熱費	20,000	240,000	20,000	240,000																																																																																					
通信	20,000	240,000	20,000	240,000																																																																																					
交通費	30,000	360,000	0	0																																																																																					
美容・衣服	30,000	360,000	0	0																																																																																					
その他	70,000	840,000	0	0																																																																																					
計	270,000	3,240,000	60,000	720,000																																																																																					

(4) キャッシュフロー表の確認と修正

画面下のシートタブの「キャッシュフロー表」をクリックしてください。これまでの作業により、下图のように、オリジナルのキャッシュフロー表ができあがっているはずです。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA AB AC AD		2024/6/9	
キャッシュフロー表		(単位:万円)	
大谷 勝		西暦	2024
大谷 麻美		本人	48
大谷 春子		配偶者	47
大谷 夏男		子1	19
		子2	20
		子3	21
		子4	22
		父	23
		母	24
① 給与支払金額		500	500
② 公的年金		0	0
③ 所得税・住民税		15	21
④ 社会保険料(厚生、介護、健康)		81	81
① 給与支払金額		500	500
② 公的年金		0	0
③ 所得税・住民税		24	36
④ 社会保険料(厚生、介護、健康)		91	94
⑤ 投資信託売却等		0	0
⑥ その他		0	0
⑦ 可処分所得(手取り収入)		779	774
⑧ 基本生活費		324	327
⑨ 特別生活費		72	73
⑩ 住居費		180	182
⑪ 保険料		24	24
⑫ 教育費		0	0
⑬ 投資等		48	48
支出合計		648	654
年間収支		131	120
A: 銀行等貯蓄増背		500	634
B: 定期預金又は投資信託増背(解約又は売却後)		100	151
C: 資産総額 (A+B)		782	955

本人が100歳となるまでの表にする

作成者本人の現在の年齢によって、キャッシュフロー表の右端の年齢が変わってきます。

そこで、翌年 61 歳のセルをクリックし、「0」を入力、**enter** キーを押してください。

1		キャッシュフロー表		(単位:万円)												
2				西暦	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
3	年齢	大谷 勝		本人	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
		大谷 麻美		配偶者	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
		大谷 春子		子1	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
		大谷 夏男		子2	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
				子3												
				子4												
				父母												
11	収入	① 給与支払金額		本人	600	600	600	600	600	600	600	600	300	300	300	
		② 公的年金		本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑤ 所得税・住民税		本人	31	31	41	41	41	41	41	41	12	12	12	
		⑥ 社会保険料(厚生、介護、健康)		本人	94	94	94	94	94	94	94	94	49	49	49	
		①' 給与支払金額		配偶者	600	600	600	600	600	600	600	600	600	0	0	
		②' 公的年金		配偶者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑤' 所得税・住民税		配偶者	59	62	65	68	71	74	77	80	83	86	0	
		⑥' 社会保険料(厚生、介護、健康)		配偶者	103	106	109	112	115	118	121	124	127	130	0	
		③ 投資信託売却等			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		④ その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500	1,500	1,500
21		可処分所得(手取り収入)			914	908	892	886	880	874	868	862	2,130	524	1,739	
22	支出	⑪ 基本生活費		1.0%	337	341	344	347	351	354	358	361	365	369	372	
		⑫ 特別生活費		1.0%	75	76	76	77	78	79	80	80	81	82	83	
		⑬ 住居費		1.0%	187	189	191	193	195	197	199	201	203	24	24	
		⑭ 保険料			24	24	24	24	24	24	24	24	24	0	0	
		⑮ 教育費			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑯ 投資等			48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
		28		支出合計			671	677	683	690	696	702	708	715	721	523
29		年間収支			243	231	209	197	184	172	160	147	1,409	1,001	1,212	
30		A: 銀行等貯蓄残高			500	1,449	1,679	1,888	2,085	2,269	2,441	2,601	2,748	4,157	5,157	6,369
31		B: 定期預金又は投資信託残高(解約又は売却後)		2.0%	100	365	421	479	537	597	658	720	783	848	914	981
32		C: 資産総額 (A+B)			1,814	2,101	2,367	2,622	2,866	3,099	3,321	3,531	5,005	6,071	7,351	

この結果、「④その他」行の 61 歳以降の数値が 0 となりました。

1		キャッシュフロー表		(単位:万円)												
2				西暦	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
3	年齢	大谷 勝		本人	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
		大谷 麻美		配偶者	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
		大谷 春子		子1	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
		大谷 夏男		子2	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
				子3												
				子4												
				父母												
11	収入	① 給与支払金額		本人	600	600	600	600	600	600	600	600	300	300	300	
		② 公的年金		本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑤ 所得税・住民税		本人	31	31	41	41	41	41	41	41	12	12	12	
		⑥ 社会保険料(厚生、介護、健康)		本人	94	94	94	94	94	94	94	94	49	49	49	
		①' 給与支払金額		配偶者	600	600	600	600	600	600	600	600	600	0	0	
		②' 公的年金		配偶者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑤' 所得税・住民税		配偶者	59	62	65	68	71	74	77	80	83	86	0	
		⑥' 社会保険料(厚生、介護、健康)		配偶者	103	106	109	112	115	118	121	124	127	130	0	
		③ 投資信託売却等			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		④ その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500	0	
21		可処分所得(手取り収入)			914	908	892	886	880	874	868	862	2,130	24	2	
22	支出	⑪ 基本生活費		1.0%	337	341	344	347	351	354	358	361	365	369	372	
		⑫ 特別生活費		1.0%	75	76	76	77	78	79	80	80	81	82	83	
		⑬ 住居費		1.0%	187	189	191	193	195	197	199	201	203	24	24	
		⑭ 保険料			24	24	24	24	24	24	24	24	24	0	0	
		⑮ 教育費			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		⑯ 投資等			48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
		28		支出合計			671	677	683	690	696	702	708	715	721	523
29		年間収支			243	231	209	197	184	172	160	147	1,409	-499	-4	
30		A: 銀行等貯蓄残高			500	1,449	1,679	1,888	2,085	2,269	2,441	2,601	2,748	4,157	3,657	3,3
31		B: 定期預金又は投資信託残高(解約又は売却後)		2.0%	100	365	421	479	537	597	658	720	783	848	914	981
32		C: 資産総額 (A+B)			1,814	2,101	2,367	2,622	2,866	3,099	3,321	3,531	5,005	4,571	4,3	

なお、例では、配偶者も 60 歳の時に退職金を支給される設定なので、先ほど、夫（本人）の場合と同様に、画面の中で、「収入」の内訳の「④その他」の「行」と、配偶者が 60 歳の「列」が交わるセルに退職金額（この場合は 1,500）を入力します。その際、先ほどの夫の例と同様に、次の欄以降が 1,500 となってしまうのを 0 に修正します。

○年金繰り下げについて

基本データで入力したとおり、今回の例では、本人の年金は 65 歳から 150 万円を受給することとなっています。（2021 年年度末の時点で、繰り上げ受給は国民年金が 27.0%、厚生年金が 0.6%、繰り下げ受給は国民年金が 1.8%、厚生年金は 1.2%：公益財団法人生命保険文化センターの資料による）

これを、年金支給開始時期を 70 歳に繰り下げする場合について説明します。繰り下げをしない場合はこれらの作業は必要ありません。

以下、基本データで入力した「70 歳繰り下げの想定年金額」を万円単位にして入力してください。まず、下の赤矢印が指す 65 歳時の想定年金額（今回の例では 150）のセルをクリックします。

5	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047
	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
00	300	300	300	300	300	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	150	150	150	150	150	150	150
41	12	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0
94	49	49	49	49	49	3	3	3	3	3	3	3
00	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

このとき、以下の図のように、画面左上の方に数式が表示されています。

この数式で、赤矢印のように 65 を 70 に、青矢印のように H を I に書き換えます (①)。(75 歳に繰り下げの場合は、65 を 75 に、H を J に書き換えます。)

①

元の数式: `=IF(W3<65,0,基本データ!$H11/10000)`

変更後の数式: `=IF(W3<70,0,基本データ!$I11/10000)`

画面下部の表:

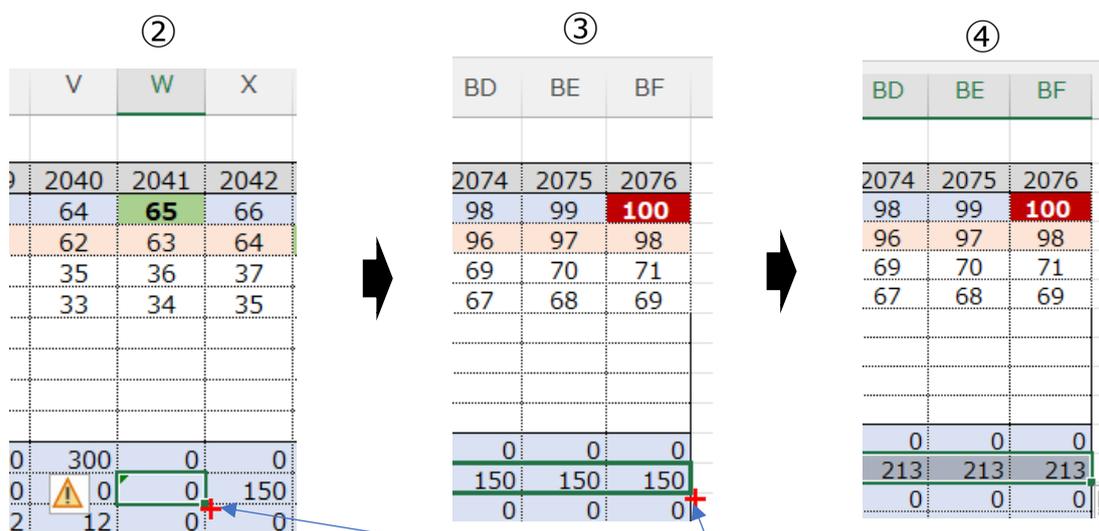
キャッシュフロー表		(単位：万円)			
	西暦	029	2030	2031	2032
大谷 勝	本人	53	54	55	56

キーボードの **enter** キーを押してください。65歳時の年金は0の表示に変わりました。

次に、65歳時の年金額が0に変わったセルをクリックして選択し（クリックは一旦離す）、セルの右下隅にカーソルを合わせ、「+」の表示になったらクリックし（②）、そのまま右へドラッグして表の右端まで来たら（③）クリックを解除します。年金の欄が70歳から100歳まで213万円に変わりました（④）。

（これらの作業は、①で修正したセル内の計算式を、100歳までのセルに張り付けるためのものです。）

2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
300	300	300	300	300	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	150	150	150	150	150
12	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0
49	49	49	49	49	3	3	3	3	3	3
100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	80	80	80	80
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



これらの十字は実際の画面では黒色

○銀行等貯蓄残高と定期預金又は投資信託累計残高の調整について

キャッシュフロー表の最下段の「C:資産総額 (A+B)」の額が、老後（働かなくなり、年金のみにより生活を送るころ）にある程度プラスとなっていれば心配ありません。

「A:銀行等貯蓄残高」がマイナスとなり、「B:定期預金又は投資信託累計残高（解約又は売却後）」に余裕のある場合は、「収入」の「③ 投資信託売却等」の当該年に売却額を入力してください（例では300万円として、「300」を入力）。その結果、「B:定期預金又は投資信託累計残高（解約又は売却後）」から「A:銀行等貯蓄残高」にその金額が移ります。

キャッシュフロー表 (単位: 万円)										AI	AJ	AK	AL
1													
2										2053	2054	2055	2056
3	大谷 勝	本人	75	76	77	78	79	80	81	77	78	79	80
4	大谷 麻美	配偶者	73	74	75	76	77	78	79	75	76	77	78
5	大谷 春子	子1	46	47	48	49	50	51	52	48	49	50	51
6	大谷 夏男	子2	44	45	46	47	48	49	50	46	47	48	49
7		子3											
8		子4											
9		父母											
10													
11	① 給与支払金額	本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	② 公的年金		150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
13	⑤ 所得税・住民税		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	⑥ 社会保険料(厚生、介護、健康)		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
15	①' 給与支払金額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	②' 公的年金		配偶者	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
17	⑤' 所得税・住民税	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	⑥' 社会保険料(厚生、介護、健康)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	③ 投資信託売却等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	④ その他	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	可処分所得(手取り収入)			227	227	227	227	230	230	230	227	527	230
22	⑪ 基本生活費	1.0%	192	194	196	198	200	202	204	196	198	200	202
23	⑫ 特別生活費	1.0%	48	48	49	49	50	50	51	49	49	50	50
24	⑬ 住居費	1.0%	28	28	28	28	29	29	29	28	28	29	29
25	⑭ 保険料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	⑮ 教育費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	⑯ 投資等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	支出合計		268	270	273	276	278	281	284	273	276	278	281
29	年間収支		-41	-44	-46	-49	-48	-51	-54	-46	251	-48	-51
30	A: 銀行等貯蓄残高	500	136	92	45	-4	-52	-104	-158	45	296	248	196
31	B: 定期預金又は投資信託残高(解約又は売却後)	2.0%	100	954	973	992	1,012	1,032	1,053	992	706	720	735
32	C: 資産総額 (A+B)		1,089	1,065	1,037	1,008	980	949	916	1,038	1,002	968	931
33													
34													

3 その他

- 毎年年初に（確定申告をされる方は、確定申告時に）、**キャッシュフロー表の前年一年間の想定数値を実際の結果の数値に入れ替えてください**。この作業を毎年繰り返すことにより、将来の予想がより確定値に近づいていきます。ぜひ、年が明けたら、振り返りをしてみてください。
- 住宅ローン減税**は、確定申告をすることにより、毎年末時の住宅ローン残高の0.7%（最大減税額は年35万円、減税期間は13年）、所得税から引かれます（2022年に改正される前の制度では、残高の1.0%（最大減税額は40万円、減税期間は10年）でした。）。
なお、建物の種類によって減税額等は異なります。本シミュレーションでは計算簡略化のため、住宅ローン減税については考慮していません。
- 一年の間にかかった医療費が10万円を超える場合には、確定申告をすることにより、**医療費控除**として他の所得控除（基礎控除や生命保険料控除、社会保険料控除等）と合算され、課税所得（所得税を掛ける所得。額が低いほどお得）を引き下げる効果があります。しかしながら、本シミュレーションでは計算簡略化のため、医療費控除については考慮していません。

【参考】

Excelの自動計算には、以下の数値及び計算式等を重層的に組み込んでいます。

1. 給与所得控除後の給与等の金額

給与等の収入金額 (A)

(単位：円)

A の金額	給与所得控除との給与等の金額
～550,999	0
551,000～1,618,999	$A - 550,000$
1,619,000～1,619,999	1,690,000
1,620,000～1,621,999	1,070,000
1,622,000～1,627,999	1,072,000
1,624,000～1,627,999	1,074,000
1,628,000～1,799,999	$A \div 4$ (千円未満の端数は切り捨て) $\times 2.4 + 100,000$
1,800,000～3,599,999	$A \div 4$ (千円未満の端数は切り捨て) $\times 2.8 - 80,000$
3,600,000～6,599,999	$A \div 4$ (千円未満の端数は切り捨て) $\times 3.2 - 440,000$
6,600,000～8,499,999	$A \times 0.9 - 1,100,000$
8,500,000～	$A - 1,950,000$

2. 公的年金等の雑所得の計算

公的年金等の雑所得の額

(単位：円)

		公的年金等に係る雑所得以外の合計所得金額		
		～10,000,000	10,000,000～ 20,000,000	20,000,001～
公的年金等の収入金額 B	～3,299,999	$B - 1,100,000$ (赤字のときは0)	$B - 1,000,000$ (赤字のときは0)	$B - 900,000$ (赤字のときは0)
	3,300,000 ～4,099,999	$B \times 0.75 - 275,000$	$B \times 0.75 - 175,000$	$B \times 0.75 - 75,000$
	4,100,000 ～7,699,999	$B \times 0.85 - 685,000$	$B \times 0.85 - 585,000$	$B \times 0.85 - 485,000$
	7,700,000 ～9,999,999	$B \times 0.95 - 1,455,000$	$B \times 0.95 - 1,355,000$	$B \times 0.95 - 1,255,000$
	10,000,000～	$B - 1,955,000$	$B - 1,855,000$	$B - 1,755,000$

注)・上表は65歳以上の方が対象(65歳未満の方についてはこれとは別の表あり)。

・1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てます。

3. 配偶者（特別）控除

配偶者（特別）控除の額

（単位：万円）

		本人の合計所得金額				控除の種類
		900 以下	900 超 950 以下	950 超 1,000 以下	1,000 超	
配偶者の合計所得金額	48 以下	38	26	13	0	配偶者控除
	老人控除対象配偶者 (70歳以上の方)	48	32	16		
	48 超 95 以下	38	26	13		配偶者特別控除
	95 超 100 以下	36	24	12		
	100 超 105 以下	31	21	11		
	105 超 110 以下	26	18	9		
	110 超 115 以下	21	14	7		
	115 超 120 以下	16	11	6		
	120 超 125 以下	11	8	4		
	125 超 130 以下	6	4	2		
	130 超 133 以下	3	2	1		
	133 超	0	0	0		

注) ・パート収入（給与所得）のみの場合における所得金額の計算は1. による。

・公的年金（雑所得）のみの場合における所得金額の計算は2. による。

・パート収入（給与所得）や公的年金（雑所得）以外に所得がある場合は、他の所得も含めて合計所得金額を算出する必要あり。

4. 課税される所得金額の計算

1. で求めた給与等の収入金額や2. で求めた雑所得額などの収入を合算したものを**合計所得金額（C）**といい、3. などの各種控除（各種所得に係る控除^{※1}、各種所得控除^{※2}）を控除した額（D）を差し引いたものが課税される所得金額（E）となります。

$$\text{課税される所得金額（E）} = \text{合計所得金額（C）} - \text{合計控除額（D）}$$

※1 給与所得（前1. の内容）、雑所得（前2. の内容）のほか、事業所得、利子所得、譲渡所得、不動産所得、配当所得、一時所得をいいます。

なお、これらのうち、当キャッシュフロー表の作成プログラムでは、多くの方に関係のある給与所得、雑所得のみを反映させています。

※2 配偶者（特別）控除（前3. の内容）のほか、社会保険料控除（健康保険、介護保険、雇用保険、厚生年金）、小規模企業共済等掛金控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寡婦・ひとり親控除、勤労学生控除、障害者控除、扶養控除、基礎控除、雑損控除、医療費控除、寄付金控除をいいます。

なお、これらのうち、当キャッシュフロー表の作成プログラムでは、多くの方に関係のある配偶者控除、社会保険料控除、生命保険料控除、地震保険料控除、扶養控除、基礎控除のみを反映させています。

5. 課税される所得金額 (E) に対する税額 (F) の計算

(単位：円)

E の金額	課税される所得金額 (E) に対する税額 (F)
0	0
1,000～1,949,000	$E \times 0.05$
1,950,000～3,299,000	$E \times 0.1 - 97,500$
3,300,000～6,949,000	$E \times 0.2 - 427,500$
6,950,000～8,999,000	$E \times 0.23 - 636,000$
9,000,000～17,999,000	$E \times 0.33 - 1,536,000$
18,000,000～39,999,000	$E \times 0.4 - 2,796,000$
40,000,000～	$E \times 0.45 - 4,796,000$

6. 差引所得税額 (G)

5. で求めた税額 (F) から、さらに以下の各種控除を差し引き差引所得税額 (G) を求めます。

- ・ 配当控除
- ・ (特定増改築等) 住宅借入金等特別控除　いわゆる住宅ローン控除のことです。
- ・ 政党等寄付金等特別控除
- ・ 住宅耐震改修等特別控除

7. 再差引所得税額 (基準所得税額) (I)

6. で求めた差引所得税額 (G) から災害減免額 (H) を差し引き再差引所得税額 (基準所得税額) (I) (本来の所得税) を求めます。

8. 復興特別所得税額 (J) の計算

7. で求めた基準所得税額 (I) に 2.1% の税率を乗じたものが復興特別所得税額 (J) です。復興特別所得税は 2011 年に発生した東日本大震災に対する復興支援を目的として設けられた税金で、2013 年から 2037 年まで (延長する案も検討されています)、所得税と合わせて申告・納付することとされています。

$$\text{復興特別所得税額 (J)} = \text{基準所得税額 (I)} \times 2.1\%$$

9. 最終的な納税額 (確定申告における申告納税額) (L)

源泉徴収票に記載されている源泉徴収税額 (給与や年金などの支払者において、あらかじめ差し引かれた所得税等の額) (K) から、7. で求めた基準所得税額 (I) 及び 8. で求めた復興特別所得税 (J) を差し引いたものが申告納税額 (L) (100 円未満の端数は切り捨て) となります。

$$\text{申告納税額 (L)} = \text{源泉徴収税額 (K)} - (\text{基準所得税額 (I)} + \text{復興特別所得税額 (J)})$$

この申告納税額 (L) がプラスの値の場合には納税が必要となり、マイナスの値の場合には還付されることとなります。